

「おたく」態度がシンデレラ・コンプレックスに及ぼす 影響の一考察

Effects of “Otaku” Attitudes on Cinderella Complexes

桃原 さくら
バルテス株式会社
Sakura Momohara
Valtes Holdings

宮崎 圭子
跡見学園女子大学心理学部
Keiko Miyazaki
Faculty of Psychology, Atomi University

要 約

本研究の目的は「おたく」とであると自覚している女性を対象に、「おたく」傾向が人への依存等にどのような影響があるかを検討することであった。2021年12月下旬に、筆頭著者のおたくネットワークのSNS(Instagram, twitter)によるフォロワー、および機縁法によりリクルートした。有効回答数は109名(M:20.64歳, SD:1.07)であった。調査内容は、「おたく」態度尺度(菊池, 2000), シンデレラ・コンプレックス尺度(藤岡, 1988)である。前者は「趣味への没入」(4項目), 「社会的内向」(9項目), 「自己流の価値観」(4項目), 「孤独志向」(4項目), 4下位尺度, 計26項目からなる。後者は、「依存」(5項目), 「自信のなさ・根なし草感」(6項目), 「独立と依存との葛藤」(5項目), 3下位尺度, 計16項目からなる。「おたく」態度尺度の4下位尺度変数を独立変数とし, シンデレラ・コンプレックス尺度の3下位尺度変数それぞれを従属変数とした重回帰分析を行った。その結果, 従属変数が「自信のなさ・根なし草感」の結果は, $R^2 = 0.18$ (0.1%水準で有意), 「社会的内向」の標準偏回帰係数 $\beta = 0.39$ (0.1%水準で有意)であった。また, 従属変数が「孤独と依存との葛藤」の結果は, $R^2 = 0.14$ (1%水準で有意), 「趣味への没頭」の $\beta = 0.20$ (5%水準で有意), 「社会的内向」の $\beta = 0.34$ (0.1%水準で有意)であった。これらの結果を踏まえて, 「おたく」の特性傾向により, ネガティブな特性を指摘しやすい可能性, 2つの尺度の課題(因子構造の確認, 質問項目の表現等)を考察した。

【Key Words】おたく態度, シンデレラ・コンプレックス, ネガティブ, ポジティブ

I 問題

1. 「おたく」と心理

「おたく」という単語は1980年代頃から使用されていたとされている(間所, 2014)。仲間内で二人称を「お宅」と呼んでいたことから始まったようである(間所, 2014)。

間所(2014)は, 実際の用法としてはかなり曖昧な使われ方をしているようだと指摘している。

デジタル大辞泉(小学館)では, 「おたく」を「あることに過度に熱中し, 詳しい知識をもっている事。また, そのような人」と定義している。さらに, 「1980年代半ばか

ら使われ始めた言葉で、当初はやや軽視するいい方だった。」という補説が記されている。広辞苑(第六版)では、「特定の分野・物事にしか関心が無く、その事には異常なほど詳しいが、社会的な常識には欠ける人」とも記されている。吉海(2021)も当初はマイナスの意味合いが強かったと同様の指摘をしている。

菊池(2000)は、「おたく」概念を社会的ステレオタイプの一つと捉え、東京都下と長野県内の2国立大学大学生208名(男性121, 女性87, 平均年齢19.2歳)を対象とした調査を行った。自由記述質問『あなたは「おたく」とはどういう人だと思いますか? 最も思うこと一つと、その他、「おたく」の特徴をいくつでも書いて下さい』に対する回答のうち、「最も思うこと」の内容をネガティブなもの、ポジティブなもの、判断できないものの三通りに評定した。その結果、ネガティブな回答が62%を占めた。回答例として、「暗くて部屋の中に引きこもっている」「一つのことに異常なほどのめり込んでいる」「変わった人」等が挙げられている。因みに、ポジティブな回答は17%であった。

山上(2021)は、いわゆる「おたく」的な傾向性を有した人々が心理社会的な不適応的問題を抱えやすいという印象が多くの人々によって共有されていることを指摘した。それに対して、定量的な手法によってその実証を試みた。その結果、「おたく」は悲観的な態度に陥りやすいこと、インターネットを多目的に依存的に用いる傾向があること、インターネットに関係する不適応的認知が「おたく」のインターネット依存の予測因子となりやすいこと、以上の

3点を明らかにした。

先の間所(2014)は、この「社会的な常識には欠ける人」という定義にはサブカルチャーへの偏見を感じ異論があると主張している。

菊池(2000)は、「おたく」特有の文化領域とされていたアニメやゲーム産業が活発化していること、日本発の文化として海外で高い評価を受けていることを近年の動向として指摘している。さらに、その影響で、「おたく」のポジティブな面を再評価する動きも多く見られるようになってきたことも指摘している。

岡田(1996)は、「おたく」の定義を以下のように呈示している。①映像に対する感受性を極端に進化させた「眼」を持つ人間、②高度なりファレンス能力を持つ人間、③社会適応力がないと形容されるほど、自分の「おもしろい」に敏感で忠実、④高い情報分析能力で消費社会をリードするマーケット・リーダー。

安定成長していた「おたく」市場が、経済的にクローズアップされた(菊池, 2000)。90年代後半には、ゲーム業界、パソコン自作業界、アニメ業界などの「おたく」関連産業が、停滞する日本経済のなかでも最も活発な領域となったのである(菊池, 2000)。事実、経済産業省(2021)は、クールジャパン政策として、平成25年にクールジャパン機構を設立した。日本の生活文化の特色を生かした商品・サービスは、他国に真似できない日本固有の魅力を持ち、外国人が「クール」と評価していると主張する。そして、マンガ、アニメ関連コンテンツを2,100万人のユーザーに、英、中、スペイン、インドネシアの4言語で発信す

る、米国や中国を中心に、キャラクターグッズ等のマーケティング及び物販事業を本格化させることの重要性を説いている。

その一方で、「おたく」ステレオタイプの人格・行動特性に関する心理学的な実証研究はほとんどなされていないとも指摘されている(菊池, 2000)。そのような文脈の中で、菊池(2000)は、「おたく」態度尺度を作成し、社会的スキル尺度(Kiss18)(菊池, 1988)との関連性を検討した。その結果、いずれも1%水準で、「おたく」態度下位尺度「社会的内向」がKiss18と比較的強い負の相関、「自己流の価値観」および「孤独志向」が弱い負の相関があることが明らかとなった。

2. シンデレラ・コンプレックスにおける依存について

シンデレラ・コンプレックスとは、「誰かに面倒を見てもらいたい。」という潜在的願望によって女性が「精神と創造性」とを十分に発揮できずにいる状態のことである(Dowling, 1981)。Dowling(1981)は、そういった潜在的意識レベルで女性の自立を内側から妨げているもの、又、その症候群をシンデレラ・コンプレックス(Cinderella Complex)と名付けた。有名なおとぎ話の『シンデレラ』の主人公シンデレラのように、苦勞をしていてもいつかは自分を幸せにしてくれる素敵な王子様が登場するであろうという憧れや願望を持ち、自分の人生を任せ、その相手に頼ったり、守られたいという心理の状態のことである。単に幸せを求める女性たちの単なる玉の輿的結婚願望かと言われれば決してそういう訳ではない。中には依存願望、結婚幻想、自信のな

さ、依存と独立・自立との葛藤、責任回避などの心理が複雑に混じりあったものである(藤岡, 1988)。

日本では落合(1984)が、Dowling(1981)の叙述に基づき、シンデレラ・コンプレックス尺度を作成し、尺度の因子構造の検討や年齢・職業による差異、欲求や動機尺度との関係を調べている。調査対象者は18歳～58歳までの147名であった。因子分析の結果、「自信のなさ・根なし草」因子、②「依存」因子、③「責任回避」因子の3つを抽出している。

「おたく」傾向が強いということと、心理的な何らかの特徴と関連があると考ええる事は自然な事である。特に若年女性の場合、菊池(2000)が指摘するところのネガティブなタイプとしての自己表現ができない、社会との接点を持ってない特徴が強いのだろうか。依存的な心理傾向が強くなるのだろうか。それとも、岡田(1996)が指摘しているマーケット・リーダーとして、独立心の方が強くなるのだろうか。先述したように、「おたく」ステレオタイプの人格・行動特性に関する心理学的な実証研究はほとんどなされていない(菊池, 2000)。しかしながら、先に述べたように、クールジャパン政策としてのマーケティングに対して、これらを明らかにすることは意味のある事と考える。

II 目的

以上より、本研究の目的は、「おたく」であると自覚している18歳からの若年女性を対象に、「おたく」傾向が人への依存等にどのような影響があるかを検討することを目的とする。

仮説は「おたく」傾向が強くなればなるほど、シンデレラ・コンプレックスの依存度が強くなるとした。

Ⅲ 方法

1. 調査対象者

若年女性でなにか没頭するものがある者という条件に限定した対象者をリクルートした。有効回答は109名(平均年齢20.64, *SD* 1.07)であった。

2. 調査時期

2021年12月下旬

3. 調査方法と調査手続き

筆者の SNS(Instagram, twitter)によるおたくネットワークのダイレクトメッセージを利用し、それら SNS のフォロワーや機縁法により、調査協力者を募った。調査は Google Forms を利用した。質問フォームは無記名であること、調査への協力・回答については任意であり拒否もできること、途中で回答拒否してもなんら不利益を被ることはないこと、得られたデータは分析以外に使用しないことを明記した。Google Forms アンケートへの回答をもって同意が得られたものとした。

4. 調査内容

質問フォームは3つの内容から構成されている。フェイスシート、「おたく」態度について、シンデレラ・コンプレックスについてである。フェイスシート以外は「あてはまらない」～「あてはまる」を1～5段階で回答を求めた。

1) フェイスシート

①所属に関する項目

「文系」「理系」「社会人」の3項目で現在の所属についての選択を求めた。

②年齢に関する項目

自由記述での誤答を避けるため、「18歳」「19歳」「20歳」「21歳」「22歳」「23歳」「24歳」の7項目で現在の年齢の選択を求めた。

2) 「おたく」態度(菊池, 2000)

予備調査の自由記述、1989年以降の新聞記事や用語年鑑、出版物などから、「おたく」ステレオタイプを特徴づける表現より、38項目が収集された(菊池, 2000)。得られたデータに対して、バリマックス法による因子分析を行ったところ、4因子26項目からなる「おたく」態度尺度が作成された(菊池, 2000)。

各4つの下位尺度は、「趣味への没入」が9項目、「社会的内向」が9項目、「自己流の価値観」4項目、「孤独志向」4項目からなる。逆転項目は7項目である(表1)。逆転項目処理を行った後、それぞれの下位尺度ごとに分析を行った。下位尺度毎に、その項目得点の総和を求め、それを各下位尺度の項目数で除したものを採用した。

3) シンデレラ・コンプレックス尺度

Dowling(1981)の叙述に基づいて18項目からなるシンデレラ・コンプレックス尺度が作成されている(落合, 1984)。これを元に、藤岡(1988)は修正を加え、シンデレラ・コンプレックス尺度を報告している(以降、これをシンデレラ・コンプレックス尺度藤岡版と呼称する)。

3つの下位尺度から構成されている。「依存」が5項目、「自信のなさ・根なし草感」が6項目、「独立と依存との葛藤」が

表1 「オタク」態度尺度（菊池, 2000）

趣味への没入 ($\alpha = .797$)	趣味に対して何らかのこだわりがある 趣味に対してかなり深い知識を持っている 自分の得意な分野について話し始めると止まらない 趣味に熱中する自分が好きだ 趣味にお金をかける さまざまな趣味を持っている 気に入った物をつい集めてしまう 一つのことを熱中して寝食を忘れることがある 自分が面白いと思うことは、人がなんと言おうと気にならない
社会的内向 ($\alpha = .679$)	他人と話すことは苦手である 明るいとよく言われる ※ 集団で行動するのは苦手である 自分の内面にかかわることをあまり話さない あまり知らない人が周囲にいるとき、目立つのが好きである ※ 周りの人にあまり関心がない 世間的にはつまらないことでも仲間内で盛り上がる ※ 共通した趣味を持つ友人以外とはあまりつきあわない スポーツをするのが好きである ※
自己流の価値観 ($\alpha = .633$)	身だしなみに気をつかわない方である 流行のファッションはくだらない おしゃれだとよく言われる ※ 自分が面白いと思うことは、社会的に評価されていないことが多い
孤独指向 ($\alpha = .534$)	マンガが好きである ゲームが好きである 異性の友人が多い ※ 部屋にこもるのは嫌いだ ※

注) ※は逆転項目

表2 シンデレラ・コンプレックス尺度（藤岡, 1988）

依存	他の人から守られている存在でありたいと思う 困難にぶつかるたびに男性の助けを求めたいと思う 寄りかけられるような相手が欲しい 男性の前では女らしい存在でありたい。 女性には面倒をみてくれる人がいると思う
自信のなさ・ 根なし草感	自分では何もできないと感ずることがある 私は自分を過小評価する傾向があると思う 自分の中にいつもびくびく頼りないものを感じる 「任せてください」と言いきれないところがある 心の支えを失い、根なし草のような自分を感じることがある 責任のあることを引き受けるのは苦手である
独立と依存との 葛藤	他の人に頼ろうとする自分がいやになることがある。 社会的に認められたいと思うがいざとなると怖い 自分は自由を望んでいるが、感情的にはふっきれない。 仕事をバリバリやりたいが、女らしくないと思われるのもいやだ 自由でありたいと思う一方で、守られていたいと思う

5項目のからなる(表2)。下位尺度毎に、その項目得点の総和を求め、それを各項目数で除したものを採用した。

4) 倫理的配慮に関して

上述のように、質問フォームには、無記名であること、調査への協力・回答については任意であり拒否もできること、途中で回答拒否してもなんら不利益を被ることはないこと、得られたデータは分析以外に使用しないことを明記した。Google Forms アンケートへの回答をもって同意が得られたものとした。

また、本研究において、利益相反はない。

IV 結果

1. 「おたく」態度がシンデレラ・コンプレックス藤岡版下位尺度変数に及ぼす影響の検討

「おたく」態度がシンデレラ・コンプレックス藤岡版下位尺度変数に及ぼす影響の検討を行うために以下の分析を行った。「おたく」態度の下位尺度「趣味への没入」「社会的内向」「自己流の価値観」「孤独志向」を独立変数、シンデレラ・コンプレックス下位尺度「依存」「自信のなさ・根なし草感」「独立と依存との葛藤」それぞれを従

属変数とした重回帰分析を行った。その結果を表3にまとめた。

従属変数を「依存」としたときの結果は、決定係数 $R^2 = 0.04$ で有意ではなかった。

従属変数を「自信のなさ・根なし草感」としたときの結果は、 $R^2 = 0.18$ 、0.1%水準で有意であった。また、「社会的内向」の標準偏回帰係数 $\beta = 0.39$ が0.1%水準で有意であった。それ以外はすべて有意ではなかった。

従属変数を「孤独と依存との葛藤」としたときの結果は、 $R^2 = 0.14$ 、1%水準で有意であった。また、「趣味への没入」の $\beta = 0.20$ が5%水準で有意、「社会的内向」の $\beta = 0.34$ が0.1%水準で有意であった。それ以外はすべて有意ではなかった。

2. 所属による差の比較検定の結果

文系、理系、社会人の3つの所属による差の比較をするために、「おたく」尺度の4つの下位尺度変数、「シンデレラ・コンプレックス」尺度藤岡版の3つの下位尺度、計7つの変数を従属変数とした一元配置分散分析を行った(表4)。

その結果、「自己流の価値観」においてのみ F 値 = 5.00 が1%水準で有意であっ

表3 「おたく」態度(下位尺度)がシンデレラ・コンプレックス藤岡版(下位尺度)に及ぼす影響

従属変数	依存	自信のなさ・根なし草感	独立と依存との葛藤
R^2	0.04 <i>n.s.</i>	0.18 ***	0.14 **
独立変数	β	β	β
趣味への没入	0.03 <i>n.s.</i>	0.12 <i>n.s.</i>	0.20 *
社会的内向	0.01 <i>n.s.</i>	0.39 ***	0.34 ***
自己流の価値観	-0.05 <i>n.s.</i>	0.10 <i>n.s.</i>	-0.02 <i>n.s.</i>
孤独指向	-0.20 <i>n.s.</i>	-0.02 <i>n.s.</i>	-0.07 <i>n.s.</i>

(*: $p < .05$, **: $p < .01$, ***: $p < .001$, *n.s.*: nonsignificant)

表4 所属による差の検定(一元配置の分散分析)結果

所属群の平均延齢(SD)	文系 (75人)		理系 (13人)		社会人 (21人)		F値	
	M	SD	M	SD	M	SD		
趣味への没入	3.92	0.67	3.90	0.71	3.81	0.68	0.21	n.s.
社会的内向	2.66	0.57	2.85	0.76	2.73	0.72	0.57	n.s.
自己流の価値観	2.31	0.64	2.50	0.34	1.92	0.47	5.00 **	文>社, 理>社,
孤独指向	3.39	0.82	3.25	0.88	3.33	0.88	0.16	n.s.
依存	2.93	0.90	3.38	0.71	3.05	0.68	1.65	n.s.
自信のなさ・根なし草感	3.31	0.93	3.56	0.91	3.25	0.90	0.51	n.s.
独立と依存との葛藤	3.51	0.88	3.54	0.73	3.44	0.95	0.07	n.s.

(>: $p < .05$, **: $p < .01$, n.s.: nonsignificant)

た。そのため、その後の検定として多重比較を行った(Bonferroni)。その結果、文系、理系ともに5%水準で有意に社会人より高かった。

V 考察

1. 「おたく」態度によるシンデレラ・コンプレックスへの影響に関して

重回帰分析の結果より、以下のことが明らかとなった。

- ✓ 「おたく」態度の下位尺度「社会的内向」が強くなればなるほど、シンデレラ・コンプレックスの下位尺度「自信の無さ・根なし草感」が強くなる
- ✓ 「おたく」態度の下位尺度「趣味への没入」および「社会的内向」が強くなればなるほど、「独立と依存との葛藤」が強くなるということが明らかとなった。

本研究の仮説は、『「おたく」傾向が大きくなればなるほど、シンデレラ・コンプレックスの依存等が強くなる』であった。よって、仮説の一部は明らかとなった。

本調査対象者は、18歳~24歳の女性でなにか没頭するものがある者という条件に限定した。筆頭著者のおたくネットワーク

(SNSと機縁法)のフォロワーを対象にリクルートしている。一般の若年女性を対象にはしていない。そのため、本研究の結果はある程度「おたく」の特徴を抽出できたと考えてよいだろう。菊池(2000)や岡田(1996)が主張する「おたく」ステレオタイプのポジティブタイプは明らかとはならなかった。むしろ、山上(2021)が明らかとしたタイプの方に近似している。先述したように、山上(2021)は、オタクは悲観的な態度に陥りやすく、インターネットを多目的に依存的に用いる傾向があると報告しているのである。

これらは、菊池(2000)の調査方法と、山上(2021)と本研究の調査方法の違いに拠るのかもしれない。前者は、一般的な大学生に対して『あなたは「おたく」とはどういう人だと思いますか?』と自由記述で訊ねている。それに対して、山上(2021)はアンケートデータの分類から「おたく」と認められた者を抽出し検討している。本研究は、最初から「おたく」であると自認している者にアンケートを依頼している。菊池(2000)の結果では、ポジティブな結果が少ないながらも得られている(例 いろいろ

な情報を持って自分の世界を作っている、何か一つ熱中でき、それを継続できる人々等々)。

菊池(2000)は、先行研究を概要し、「おたく」ステレオタイプにはネガティブタイプとポジティブタイプがあると整理している。そして、この2つのタイプを『「知」の姿勢』、『「知」の領域』、『「社会性」』、『「人格特性」』、『「経済市場」』の5軸に分類し、その特徴を論じている。例えば、「人格特性」でのネガティブタイプでは、内向的で自己表現ができない、社会的スキルに欠ける等である。ポジティブのそれは、対象を相対的な視点でとらえる自己の価値観を確立、専門をきわめるため積極的な情報収集等である。『「知」の姿勢』のネガティブでは、世界を情報としてしか捉えられない、世間知として役に立たない等である。ポジティブのそれは、冷静・客観的に情報を相対化する視点、自分の興味のおもむくままに知識を追い求め、独自の価値観を持つ等である。

このように見ていくと、山上(2021)や本研究において、「おたく」態度がネガティブな特性を予測する結果となったのは、ある意味、当然かもしれない。なぜなら、上述したように、彼らは対象を相対的な視点でとらえることに長けており、冷静・客観的に情報を相対化する視点を持っている者だからである。その対象が、例え、自分自身であっても妥協を許さない態度で自身の情報を相対化し、冷静に自身の情報をおそらく分析していることだろう。「おたく」ではない者が多数を占める社会において、自身の立ち位置も冷静に見つめ、独自の価値観を醸成しているのではないか。そんな

彼らにネガティブな尺度に回答を求めた場合、その回答がネガティブな特性を予測する結果となるのは至極当たり前のことなのかもしれない。

そのような彼らから、ポジティブなものを引き出すためには、生活満足感や強み(Strengths)を測定するような調査が有効なのかもしれない。これは今後の課題であろう。

2. 採用した尺度について

1) シンデレラ・コンプレックス尺度について

本研究で採用した尺度は、シンデレラ・コンプレックス尺度藤岡版(1988)である。【方法】でも記したように、落合(1984)のシンデレラ・コンプレックス尺度を修正したものである。しかしながら、藤岡版は因子分析を行っていない。あくまで、落合(1984)の尺度に対して、Dowlingの解釈とは少しニュアンスが異なるものが含まれるので、一部修正したという経緯となっている(藤岡, 1988)。シンデレラ・コンプレックス尺度藤岡版(1988)を因子分析して、因子構造の検討をすることが必要だろう。

いずれにしても、落合(1984)、藤岡(1988)の尺度はやや古い観がある。各質問項目の文章も再検討が必要であろう。J-Stageで、シンデレラ・コンプレックス、尺度で検索すると5件がヒットする(2024年1月4日現在)。しかしながら、5件ともシンデレラ・コンプレックスについて軽く言及されただけで、尺度作成を試みてはいない。止む無く、本研究では1980年代の尺度を使用した。新しい尺度作成が待たれるところである。

2) 「おたく」態度尺度について

菊池(2000)の「おたく」態度尺度を採用した。こちらも、若干、古いものの、自由記述の予備調査結果、および1989年以降の新聞記事や用語年鑑、出版物などから、「おたく」ステレオタイプを特徴づける表現から、38項目の質問を作成し、因子分析が実施されている尺度である。しかしながら、下位尺度の「社会的内向」の質問項目「世間的にはつまらないことでも仲間内で盛り上がる」の因子負荷量がマイナスとなっており、逆転項目となっている。おそらく、調査者の意図としては、「おたく」態度を表現している項目と考えたのではないだろうか。しかしながら、「盛り上がる」という表現が、調査者の意図するところより強い印象を回答者達に与えてしまい、その結果、逆転項目となったと考える。文章の再検討が必要なのかもしれない。

3) 所属による差の比較

7つの下位尺度変数を従属変数、所属(文系学生、理系学生、社会人)を独立変数とした一元配置分散分析結果では、「自己流の価値観」において、社会人より文系、理系が高いことが明らかとなった。平均年齢も3群共にほぼ同じ20歳~21歳で変わらない。つまるところ、「おたく」であっても、やはり社会にいれば、それなりに社会の価値観に影響を受けて、順応していくことが示唆されているのかもしれない。

3. 本研究の限界

本研究の限界として、尺度作成の年代が若干古いものを採用したこと、若年層の女性にのみ対象を絞ったこと、以上の2点が挙げられる。これらは、今後の課題とも言

えるだろう。

謝辞

本稿をまとめるに際し、アンケートにご回答してくださった方々には貴重なお時間を割いて頂き、協力して頂きました。有難うございました。

引用文献

- Dowling, C. (1981). The cinderella complex: Women's hidden fear of independence. Amersham, United Kingdom: Summit Books. 柳瀬尚紀(訳)(1986), 全訳版シンデレラ・コンプレックス, 三笠書房.
- 藤岡秀樹(2008). シンデレラ・コンプレックスについての研究, 岩手大学教育学部研究年報, 48(1), pp.155-167.
- 菊池 聡(2000). 「おたく」ステレオタイプと社会的スキルに関する分析, 人文科学論集, 34, pp.63-78.
- 経済産業省(2021). クールジャパン機構について. chrome-extension://efaidnbnmnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/creative/2110CoolJapanFundr1.pdf
- 岡田斗司夫(1996). 「おたく」学入門, 太田出版
- 間所健司(2014). 「おたく」文化とクールジャパン 大和総研 https://www.dir.co.jp/report/column/20140908_008916.html#:~:text=%E3%80%8C%E3%82%AA%E3%82%BF%E3%82%AF%E3%80%8D%E3%81%A8%E3%81%84%E3%81%86%E8%A8%80%E8%91%89%E3%81%AF%E3%80%81,%E3%81

%A8%E8%A1%A8%E8%A8%98%E3
%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E
3%81%84%E3%82%8B%E3%80%82
落合幸子(1984). 人生の転換期の心理
(IV) : 女性のなかのシンデレラ・コン
プレックス. 日本教育心理学会総会発
表論文集, 26(0), pp.430-431.

山上尚彦(2021). 「おたく」の well-being を
規定する心理社会的要因の検討(学位
論文). 筑波大学.

吉海直人(2021). 「おたく」文化について
[https://www.dwc.doshisha.ac.jp/rese
arch/faculty_column/14153](https://www.dwc.doshisha.ac.jp/research/faculty_column/14153)